

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

学校 年

名前

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

地球温暖化を防止するために

- 道に落ちているゴミを拾った
- テレビを見ない時はテレビを消す
- 電気を消した
- ドアを開めた
- シャワーを出しぬなしにしない。
- ゴミの分別をした。
- 買い物物ではできるだけエコバックを使うようにした。

ゴミ拾いをして、多かったゴミ

1位 たばこのすいがら

2位 カン

3位 ナイロンぶくろ

エコ活動を忘れないために、したことは声かけです。よし

した

エコ活動をしたらありがとうと声かけをしました。

忘れないように、たとえば気付いた家族が「エコ忘れて」と声かけをしました。

家族みんなで協力しました

ゴミ拾いをして思ったことは、道にゴミをするのはいけないと
思いました。なぜなら環境がよくなってしまうからです。
なのでもうしばらくはこれからも道にゴミをしないでくださいと思
います

これから道にゴミをする人がいたら注意しようと思い
ます。

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中貴志小学校五年

名前 宇野愛音

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）



エコチャレンジをやって考えたこと

- ・エコチャレンジをやりはじめて、分別の仕方を覚えた。
- ・歯みがきを毎回正めていたので、しゅうづけていた。
- ・これからも、エコをがんばろう。自分でできることをしようと考えた。

エコチャレンジをやってみた感想

私は特に、「節水」をがんばりました。
エコチャレンジを始めたら、いつもしていた、歯みがきをしているときは、水を止める。などの水を止めることをがんばりました。

私たち一人一人が、毎日エコ活動を続けていければ、地球がんきょうを良くして「く近く道だ」と思いました。

これからもエコ活動をがんばろうと思ひました。

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

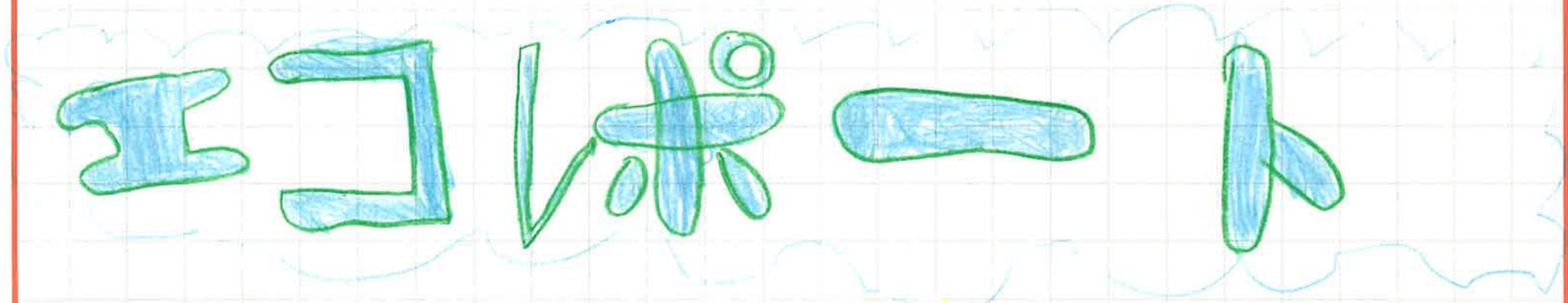
中

学校

年

名前

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）



花に使う水が多くなると水を節約するかと思います。



コップで歯がきをする水を出し、はなしにしないので水をあまり使いませんでした。



ごまめに消すと電気の使用量も少なくなつた

エコチャレンジをやってみよう

テレビやゲームをやる時間が長くなるのがイヤで遊び時間が家族で増えました。エコシールをするとお姉ちゃんが食事の時間を少しなくすくなくなりました。このため電気料金も工費もエコを続けて地球の環境もよくなりたいです。

エコチャレンジランク



1位自分 2位母 3位父 4位姉ちゃん

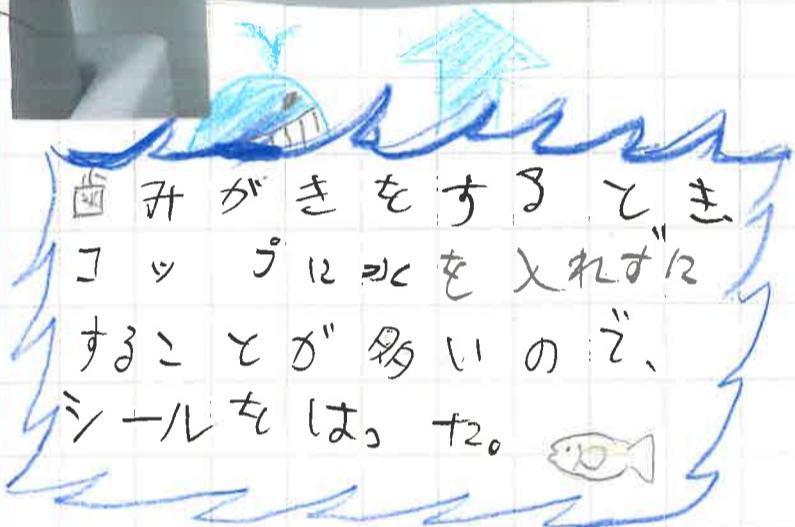
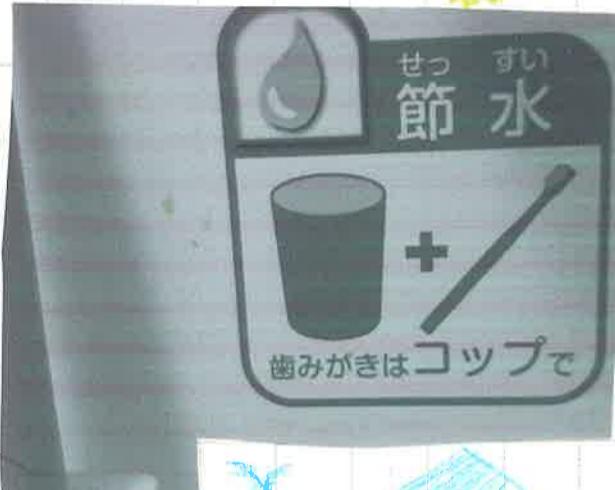
わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中貴志小学校 5年

名前 木村 咲太

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

エコチャレンジ



家の電気が付けっぱなしのこと
が多いから、きちんと消すよう
にシールをはった。



取りくんだ事

取りくんだ事1

クーラーを使う時はせんぶつきを使つた。

取りくんだ事2

せんたくを使う時はお風呂のお湯を使つた。

取りくんだ事3

トイレの水を流すときは、「さきだけ」「小」を使つた。

エコチャレンジをやって

エコシールを家の色々なところにはつたら、それを意識できるようになった。

地球温だん化を少しでも止めるためには、今回のような小さなことからやつていける、地球環境も守れると思いました。



わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

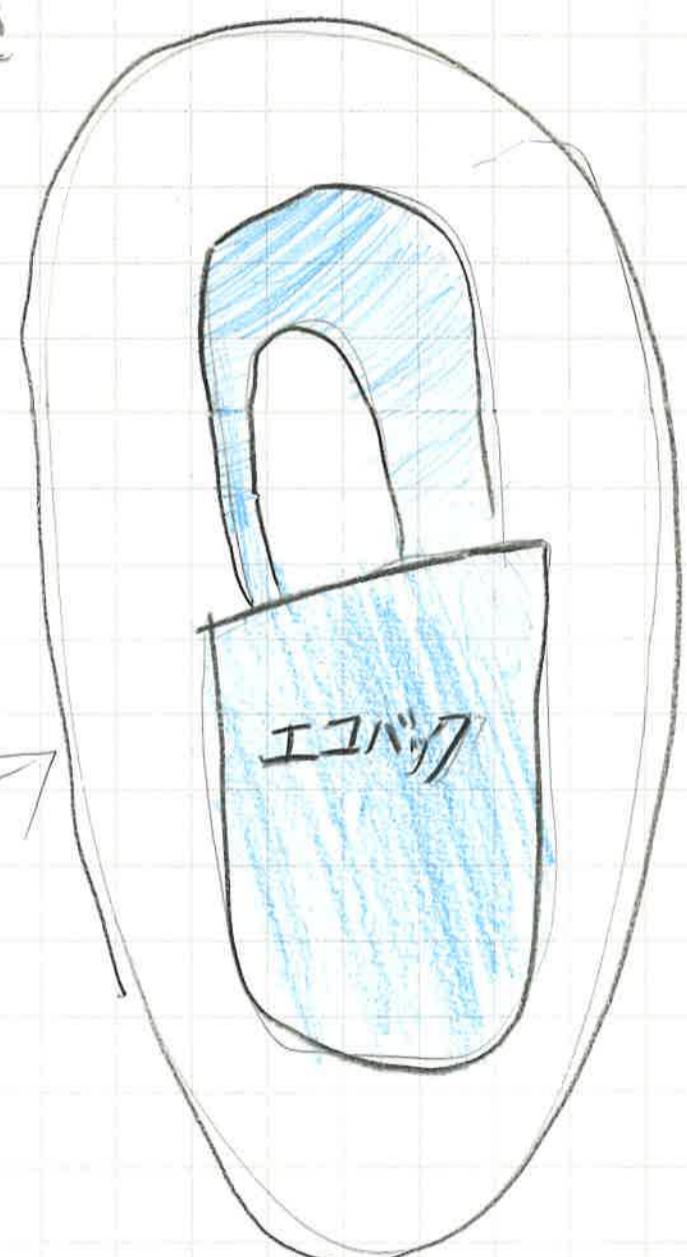
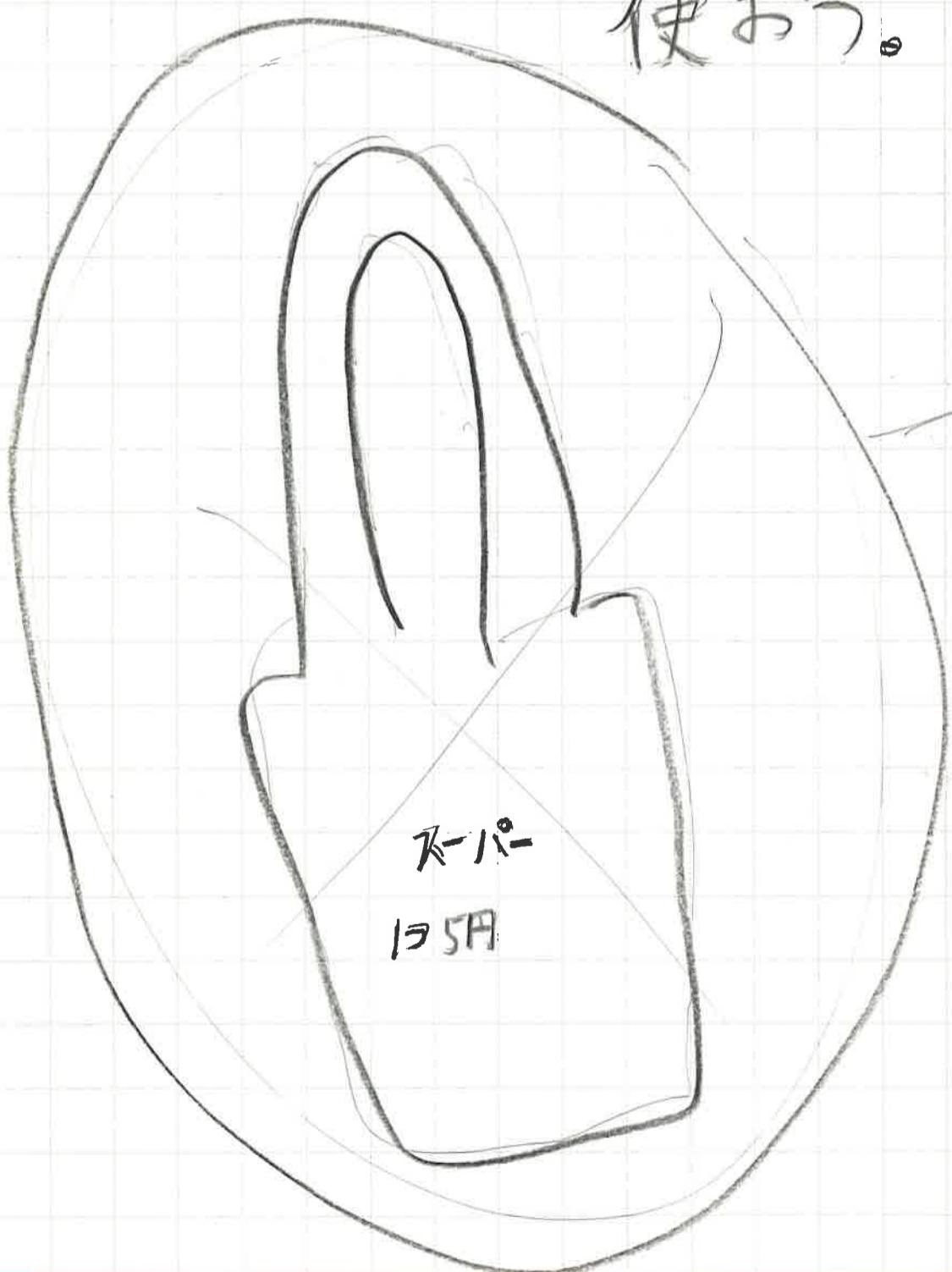
中貫志小学校 5年

名前 小向 正真

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

エコチャレンジ

できるだけお金を
出さずにエコバックを
使おう。



わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中曾志小学校 5年

名前 三西 千 玲和

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）



分別してリサイクル
へも、ていきました。
キレイにあらうて
も、て!!こう!!



シールをはる

ことによって

水のたしは

よしつかいす
きもうせぐことができた。

かいものには
エコバックを

もってい

た。クーラーの温度は28°!!

つけたりけしたりするのは

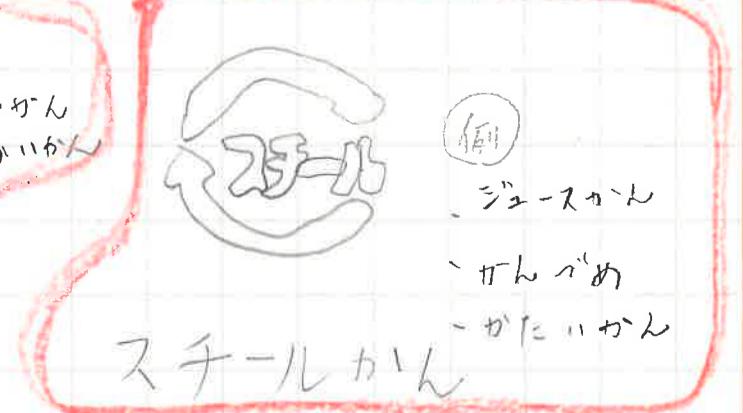
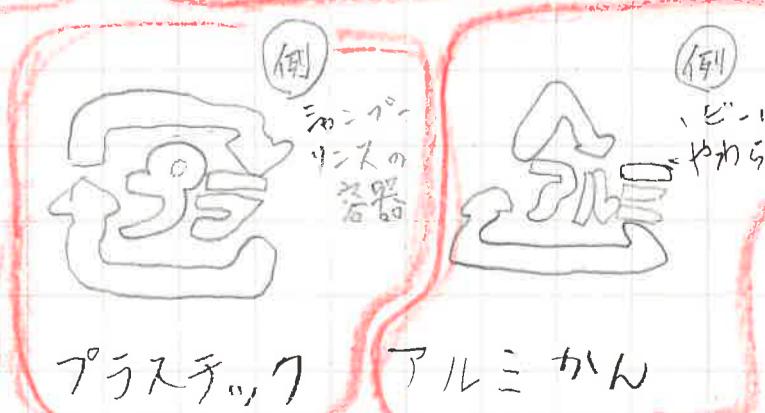
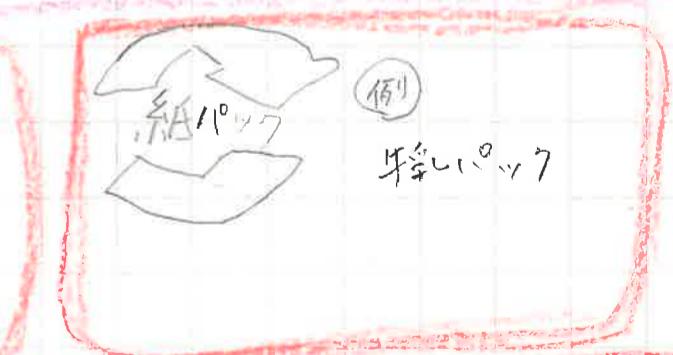
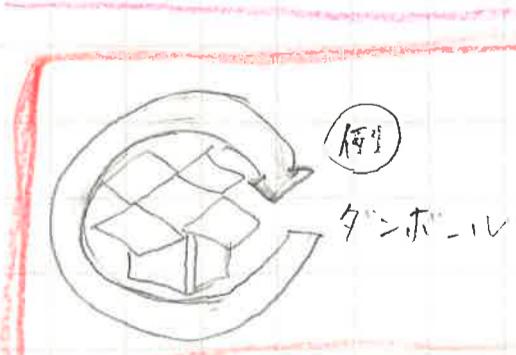
ダメ!!

つかつていづい
吾屋のてんき

はけす!!



おほえなリサイクル



牛乳パック

例

タンボール

例

紙パック

例

ポトル

PET

例

プラスチック

例

アルミかん

例

ビールかん
やわらかかん

例 ジュースかん

カんべめ

かたかん

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中貴志小学校 5年
名前 滝谷頼来

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

○○○節水。節電⚡⚡⚡

手洗い、歯みがきをする時に、手を洗っている時や歯をみがいてる間は、水を出しませんようにしました。

節電

家で暑い時に、せんぶうきや、カラーランプはずにまごを開けて外の風をいれるようにしました。

感想

エコはたいへん。

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中貴志小学校 5年

名前 辻村 季咲

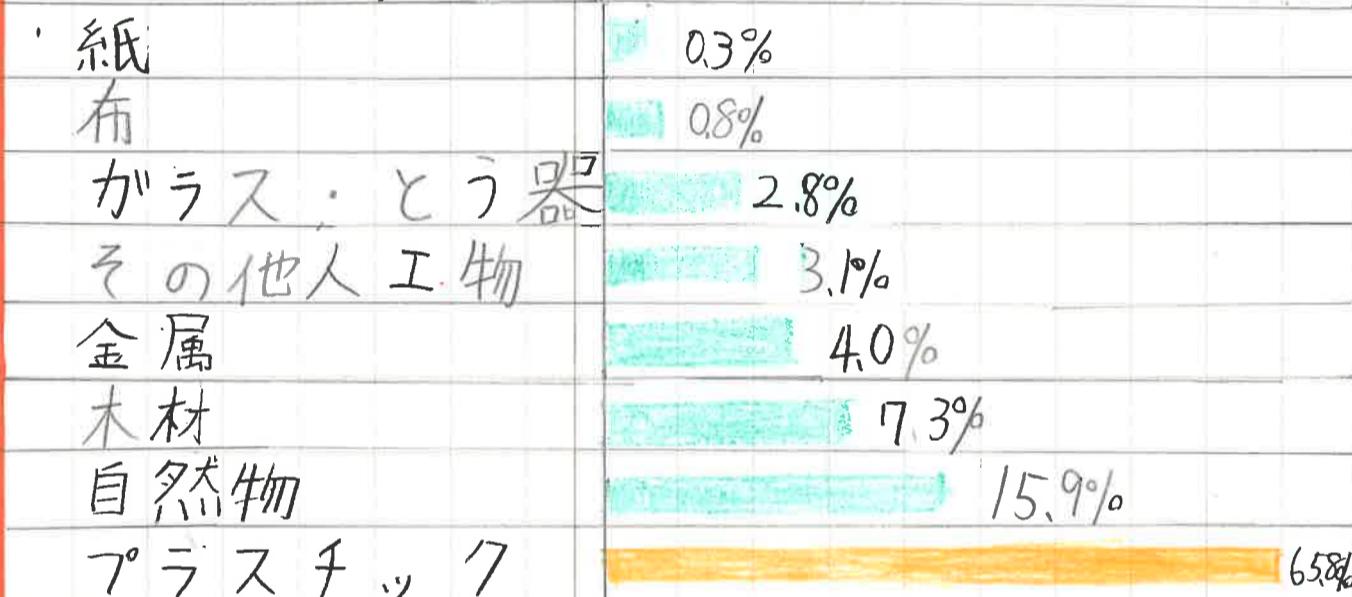
◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

海にゴミをはこばないために

- なぜ海にゴミがいくのか
- 海岸への置き捨て、ポイ捨て
- 船からの投き
- 水路や川の上流いきから
- ゴミ置き場の管理不十分

海洋ゴミの 7~8割 が街から発生している。雨が降った際などに路上のゴミが川や水路に流出し、海へ至る。

ゴミの種類



★特に海には様々なモノがゴミとして流れていますが、そのうち約7割がプラスチックゴミです。

海にゴミをはこばないためには

- マイバック、マイボトル、マイばしを持ち歩く。
- 屋外で出たゴミは家に持ち帰ってしょ分する。
- 町の清掃活動に参加する。
- ゴミは所定の場所、時間に分別して出す。
- リデュース(発生抑制) リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3Rを考える。

感想

海に流れたゴミを食べた魚を人が食べると人の体にもがいが出ることが分かった。

海の約7割がプラスチックだということを初めて知った。

これからは、ゴミが出たら、その場にすぐちゃんとゴミ箱に入れるようになる。



わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中貴志 学校 5年

名前 堀内 希美

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

○ 目標や取り組むこと

①ゴミの分別

- 牛乳パック・ペットボトル・食品トレーを分別してリサイクルに出す。
- アルミカンとその他のカンを分別する。

○ 取り組みの結果、家の人と話したこと

・期間 7月21日～7月27日

・牛乳パック 5本

・食品トレー 10枚

・ペットボトル 10本

今まで分別せずにもえるゴミにしてました。

分別することによって、木きいゴミぶくろを使つていました
か。小さいゴミぶくろで出せました。

分別した、牛乳パック、食品トレー、ペットボトルはあら,
てスーパーのリサイクルボックスへ入れました。

アルミカンとその他のカンも分別して、アルミカンをリサイ
クルボックスへ入れました。

○ エコチャレンジに取り組んで感じたこと。

分別することによってゴミの量が減ったこと。

めんどくさいと思った。

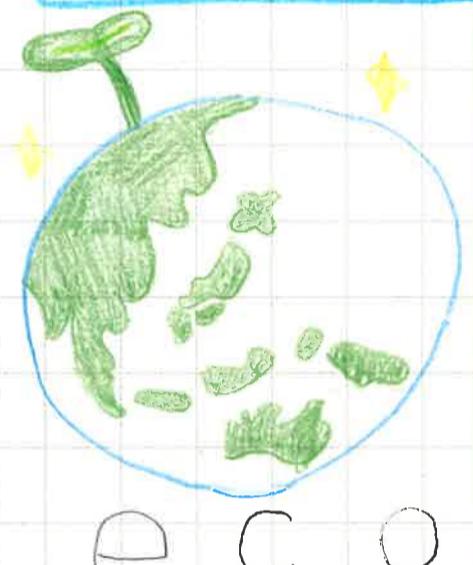
1週間しか取り組まなかつけれど、夏休み中も続けて行
うと思いました。

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中貴志小学校 5年

名前 吉田芽菜

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）



家ぞくみんなでエコチャレンジ
にちょうどせんしてみました。
家ぞくみんなで目標をきめて、
取り組みました。



- ① 水を出し、はなしにしない。
(水は、えん筆の太さにする)
- ② 電気つけ、はなしにしない。
(気づいたら電気をけす)
- ③ 食べ残しきしない。
(全部食べきる)

エコチャレンジをやってみた感想
家ぞくのみんなが「節電」「節水」「食べ残し」に気を付けるよう
にしました。もっと、エコチャレンジが終わっても、節電、
節水、食べ残しがないようにしていきたいと思いました。

わかやまこどもエコチャレンジ 活動レポート

中 ぎし 学校 5 年

学校 5 年

名前 わし 父 さき

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

(自由記入) 今まで電気のことばは気にしていなか、大きめに、水もお金がどこもいることが分かりました。これを知つて、私はせつ電やこまめにすいどうを止めるなど、さまでまなことをしました。さらに、食べ残しはかんきゅうおせんにつながつて、いる事を知りました。食べれる物もすてられたりするようひす。日本は世界一外国から食べ物をいれて、いる国なんですが、じぶたと思つても、日本は大はくがうけれど、スイガーベーとけるには、ガスを使うと言つて、なので、少しせつ電と実はかトキエうおせトにつなげつて、いるのです。だから、そのよほうのため、電気じどう車が作られました。けれど、それはあなたが高く、大がた車はまだのまえ、は二時には使われて、しません。なので日本は、モ、と食の自きゅうせ、を高めて、せつでトをこまめにし、省エネ（少ないエネルギー）となソ、なにかを動かす力になるであります。ザリもつもれば山となる、せつでトトは、この言葉がピッタリだと、少なを大きくにするために、も、とせつ電を中へにいろんことをして、いきたいと思います。